

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	ダンスⅥ	
開設学科	声優・演劇科		コース名	声優コース／俳優・タレントコース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	40時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	臨時に資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	丸澤芙由子			実務経験の有無・職種		有・バレエダンサー	
学習目的							
ダンスの基礎とされるクラシックバレエのレッスンの基礎レベルに取り組み、１年次での授業からさらに発展したテクニックを学び芝居の中での様々な動作やダンスシーンに対応できる技術を身につける。また、様々な音楽に合わせてカウントを把握することで、リズム感や音楽性を養う。同時に、舞台人を目指す上で必要となる容姿（立ち姿・姿勢）への関心を高め、身体の柔軟性・体力の強化・体調管理と怪我の予防についても学び、自己管理の重要性への意識を高める。							
到達目標							
クラシックバレエの基礎レベル以上の技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを卒業公演のダンスシーンやオーディション活動に活かしたい。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることが望ましい。それにより、身体を動かす事・体力の強化の必要性や重要性を認識し、生涯的に継続してトレーニングをする意欲に繋がることを目標としている。授業内では最終の定期試験課題として小作品に取り組み、バレエの振り付けから発表までの流れを経験すると同時に舞台上での空間認識を目指す。							
教育方法等							
授業概要	ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ（ジャイロキネシメソッド）を取り入れる。その後クラシックバレエの基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。バレエバーを使用したバーレッスンでは脚の動きを中心として基礎的な動きを繰り返しながらステップアップしていく。後半はバーを持たずに移動や身体の変化を含む、センターレッスンをを行う。習得したステップの組み合わせを変化させながら音楽に合わせて踊り、テクニックの向上を目指す。						
注意点	多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。授業中の私語や受講態度、決められた服装・髪型などには厳しく対応する。授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	授業内で提示した課題に対する理解度を総合的に評価する				
	成果発表 （口頭・実技）	10%	技術面の成果を加点とする				
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（１回～１０回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
１回	ウォームアップ・レッスン基礎初級(1)バーとセンター		バーレッスンからセンターレッスンまでの一連を通することができる				
２回	ウォームアップ・レッスン基礎初級(2)バーとセンター		毎回違う音楽・コンビネーションに対応できる				
３回	ウォームアップ・レッスン基礎初級(3)バーとセンター		移動距離を大きくダイナミックに動く				
４回	ウォームアップ・レッスン基礎初級(4)バーとセンター		美しく綺麗に魅せること・表情・表現について理解する				
５回	ウォームアップ・レッスン・試験課題練習（１）		全員での小作品の振り付けを覚える（前編）				
６回	ウォームアップ・レッスン・試験課題練習（２）		全員での小作品の振り付けを覚える（中編）				
７回	ウォームアップ・レッスン・試験課題練習（３）		全員での小作品の振り付けを覚える（後編）				
８回	ウォームアップ・レッスン・試験課題練習（４）		振り付けを正確に踊る				
９回	ウォームアップ・レッスン・試験課題練習（５）		振り付けを音楽的に表現する				
１０回	ウォームアップ・レッスン・試験・まとめ		他の人と息を合わせて踊り人前で発表できる。目標の達成度を踏まえて今後の取り組みに活かす				